

那覇港と沖縄県中央卸売市場について

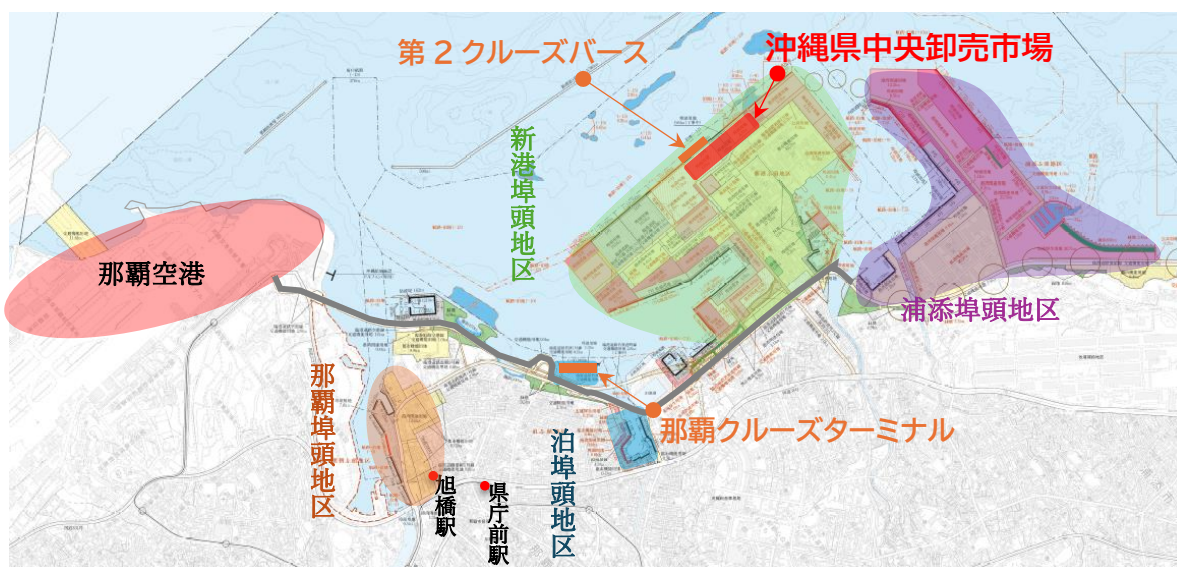
1 概要

那覇港は、那覇市から浦添市に及ぶ約 7 km の港湾エリアに立地する 4 つの埠頭エリアから構成されます。沖縄県と国内外の港を結ぶ港湾として物流機能の強化を図っており、出入貨物は、平成 25 年の 1,021 万トンから令和 4 年には 1,809 万トンと、10 年間で 1.8 倍に増加をしています。沖縄県中央卸売市場は、那覇港の取扱貨物の 75% を取り扱う新港ふ頭地区に位置します。沖縄県中央卸売市場の北側には、大型クルーズ船が接岸する第 2 クルーズバースが立地し、令和 5 年 2 月より供用開始されています。

また、那覇空港に隣接しているため、海路と空路の隣接がスムーズで、空港から那覇港までの所要時間は車で 10 分～20 分となっています。モノレールの旭橋駅、県庁前駅がある沖縄県の中心市街地から 1～5 km 程に位置し、都市機能も充実しています。

● 那覇港の 4 つの埠頭エリア

那覇ふ頭地区	鹿児島行きフェリーや貨物船等が運航する地区
泊ふ頭地区	沖縄本島周辺の離島行きフェリー等が運航する地区
新港ふ頭地区	国際コンテナターミナルが立地し最も貨物量の取扱量の多い地区
浦添ふ頭地区	内航貨物船が運航する地区



2 那覇港参考データ[参考資料一覧表の URL のリンクより、ご入手をお願いします。]

① 那覇港要覧 (2024 年/2025 年)

港勢、航路図、国際物流ターミナル、臨港道路、港湾関係官公諸及び諸団体等の情報を紹介

② 那覇港平面図

③ 那覇港の統計 令和 4 年

入港船舶、海上出入貨物、船舶乗降人員、コンテナ貨物の推移等の情報を紹介